

秩父宮賜杯 第 58 回 全日本大学駅伝対校選手権大会（熱田神宮～伊勢神宮）

2026 年度 東海学生陸上競技連盟 選抜チーム選手選考要項

【趣旨】

これまで東海学生陸上競技連盟（以下、東海学連）では、選考条件に定められた選考会レースの結果をもとに選抜チームを選考してきました。しかし本年はアジア・アジアパラ競技大会の開催により、愛知県内および隣県の競技場確保が困難であり、従来通りの選考レースが実施できません。そこで本年度の緊急措置として、以下の選考基準を設け、駅伝の区間特性を考慮したチーム編成を計画します。

1. 選考から最終エントリーまでの流れ

東海学連選抜チームのメンバーは、本要項で定める各条件（1）の(A)参加資格と(B)競技成績の両方を満たした選手を（2）の手続きに基づいて加盟校が申請し、その中から強化練習会等を経て決定されます。

具体的な条件と手続きは以下の通りです。

(1) 申請資格および競技成績

東海学連選抜チームへの選出を希望する選手は、前提となる「参加資格」をすべて満たした上で、いずれか一つの「競技成績」をクリアしている必要があります。

A) 参加資格：以下の 3 条件をすべて満たすこと。

- 1) 2026 年度東海学連加盟校の登録者であること。
- 2) 東海学連が主催する「選抜チーム強化練習会（2026 年 7 月～10 月末に複数回実施予定）」に原則として参加できること（練習会不参加の選手は選考対象外とします）。
- 3) 最終エントリーされた選抜選手（13 名）は、コンディション管理を理由に 2026 年 10 月 13 日以降大会当日までのレース出場を制限される場合があることに同意できること。

B) 競技成績：以下のいずれか一つの基準を満たしていること。

- A. 2026 年度東海学連主催の 5000m または 10000m において上位 8 名に入った選手。
- B. 2026 年度第 58 回全日本大学駅伝東海地区選考会の単独出場校を除く上位 13 名の選手。
- C. 2026 年度日本学生陸上競技連合主催の競技大会で 5000m または 10000m 以上の種目に出場した選手。
- D. 2026 年度西日本学生対校選手権大会において 5000m または 10000m において上位 12 位に入った選手。
- E. 第 87 回 東海学生駅伝対校選手権大会（2025 年 12 月 14 日実施）で区間 3 位以内の選手。
- F. 2025 年 11 月以降における公認ハーフマラソンが 1 時間 7 分以内の選手。
- G. 2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日における「選抜申請標準記録」突破者。

【選抜申請標準記録】

5000m：14 分 40 秒以内 / 10000m：31 分 00 秒以内 / ハーフマラソン：1 時間 7 分以内

(2) 加盟校からの候補選手申請手続き

上記の必須条件（資格と成績）を満たした選手について、所属大学（加盟校）より以下の通り申請をしてください。

- 通常申請期間：2026 年 7 月 1 日～7 月 10 日（各加盟校より最大 6 名まで申請可能）。
- 随時追加申請：7 月 10 日以降に選抜申請標準記録を突破した者が出た場合、9 月 30 日まで随時申請を受け付けます。
- 申請締切：2026 年 10 月 1 日以降の申請は一切受け付けません。

(3) 最終メンバーの決定（13名）と編成ルール

上記の参加資格のおよび競技成績を満たし、加盟校から申請された候補選手による強化練習会を実施します。その後、選抜チーム監督およびコーチの推薦に基づき、強化委員会において最終エントリーを行う13名を決定します。

大学枠制限：同一大学からの選出は最大3名までとします。

地域枠制限：東海4県から各県最低1名を選抜チームへエントリーします。

特記事項：選抜選手として妥当な競技力ではないと判断される場合、ヘッドコーチ、強化委員会、選抜チーム監督・コーチ間で協議の上、選考対象外とする場合があります。

2. 選抜チーム監督・コーチの選出および任期

- **監督の選出：**第58回全日本大学駅伝東海地区選考会にて、総合2位となったチームの監督が選抜チーム監督となります。
- **コーチの任命：**選抜チーム監督がコーチを任命します。
- **任期：**監督、コーチともに、2026年7月1日～全日本大学駅伝関連行事終了までとします。

3. 東海地区選考会における個人エントリーに関する特別措置について

大学駅伝東海地区選考会（2026年6月20日実施）にチームエントリー（単独出場）できない加盟校への救済および選考機会の確保として、別途以下の条件を設けます。

- チームエントリーできない加盟校は、3名を上限に個人エントリーを認めます。
- 出走は1組および2組とします。
- 申請タイムによって強化委員が番組編成を実施します（ターゲットナンバーを設定する場合があります）。

【※1・2組出場とする理由】

1・2組の段階では、まだ単独出場校の決定（選考通過ライン）が未確定であり、各校の戦略等に影響される可能性を軽減するためです。

4. 補足資料（関係者向けQ&A）

本要項の運用にあたり、想定される疑義について以下の通り共有いたします。

Q1：選考基準競技会において、複数の基準をクリアしている選手はどう評価されますか？

A1：選考プロセスにおいて有利な要素として考慮されますが、最終的な判断は強化練習会等を通じた指導陣・強化委員会の裁量によって決定されます。

Q2：今回の選考条件と練習会を重視する目的は何ですか？

A2：最大の目的は、関東の大学を中心にハイペースで進むレースにおいて、前半区間だけでも上位に食い込める実力と適性を持ったメンバーを選抜することです。また、複数回の合同練習会やミーティングを行うことで、チームビルディングを図りつつ、大会直前のピークアウトを防ぐためのコンディション把握を目的としています。

Q3：この選考方式は来年度以降も継続されますか？

A3：今回の措置は、本年9月の競技会実施が困難であることに伴う「緊急措置」です。本年度の運用を通じて問題点や改善点を抽出し、強化委員会で協議した上で、次年度以降の選考方法を改めて検討します。